

主な相談事例

【相談事例1】高齢者の相談（公社債）

2ヶ月前、複数の金融業者からA社の社債の資料が届いていないか問い合わせの電話があり、その後、すぐにA社から資料が届いた。資料到着後、金融業者B社及びC社から「A社の社債を高額で買い取る」と勧誘され、B社よりも買取率の高いC社と取引をすることにした。A社の社債を買うことにし、5回に分けて1,100万円を振り込んだが、振り込むたびに銀行口座が変わり、心配になって警察に相談をした。後日、A社の社債券は送られて来たが、所在地を訪ねてみたところ会社は存在しなかった。社債の買取日、待ち合わせ場所にC社は現れなかった。返金される可能性はあるか。

(契約当事者 70歳代／男性)

【相談事例2】若者の相談（エステティックサービス）

メールで500円のお試しコースの広告を見て、エステサロンに出向いた。痩身コースを勧められたが高額なため断ったところ、安いコースを勧められ、断りきれずに痩身とサプリメント等の商品が含まれるコースを契約した。施術の際にドリンクを1本飲むよう言われたが契約時に説明はなく、2ヵ月後にサプリメントとドリンクの追加契約の勧誘をされた。それぞれ個別のローンを組んで契約したが、学生には支払いが難しいほどの高額（約100万円）であるため解約したい。

(契約当事者 20歳代／女性)

【相談事例3】「架空・不当請求」に関する相談

スマートフォンで無料アダルトサイトのサンプル画像を見るためのアプリをダウンロードし、名前を入力して登録した。動画の途中で画面がフリーズし、見るができなくなったため画面を閉じた。その後、登録完了メールが届いた。後日、サイト事業者から電話があり、有料と確認できる画面はなかったのに料金を支払うよう請求され、「支払う」と言ってしまった。支払わなくてはならないのだろうか。また、登録時に電話番号は入力していないのに、どうしてサイト事業者に知られてしまったのだろうか。

(契約当事者 30歳代／男性)

【相談事例4】「ファンド型投資商品」に関する相談

証券会社を名乗る事業者から電話で「匿名組合に出資しないか」と勧誘を受けた。その後、詳しく話を聞いたところ、海外の不動産を運用するヘッジファンドとのこと。1年後に満期償還されるというので、1口10万円の債権を10口100万円分購入した。満期がきたので約束どおり償還されると思っていたが、半月延び、1ヶ月延びしていまだに支払われない。事業者からは「諸事情のため」としか説明がないが、どうしたらよいか。

(契約当事者 60歳代／女性)

【相談事例5】「危害」の相談

家族がまとめて購入している化粧石鹸を3年前から使用していたが、1年ほど前から顔などのかゆみがひどくなり皮膚科に通院している。インターネットで、この石鹸を使用すると小麦アレルギーになることを知り使用をやめたが、いまだにかゆみが治らない。販売会社に問い合わせたところ、新商品への交換のみ対応するが、返金は購入者本人でないことを理由にできないと言われた。

(契約当事者 50歳代／女性)